

おうみはちまん

議会だより

2022
(令和4年)

第53号

11月1日発行

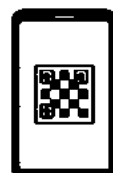


【近江八幡市防災総合訓練】

今号の主な内容

- 2～3 ◆自主防災・危機管理特集
- 4～13 ◆9月定例会の概要・個人質問
- 13～14 ◆常任委員会審査報告
- 15 ◆産業建設常任委員会活動報告・
決算特別委員会の設置について
- 16 ◆提出議案と議決結果一覧・お知らせ

©日田慶治/滋賀県/びわこビジターズビューロー



二次元バーコード（個人
質問ページ）で本会議で
の質問の様子をご覧いた
だけます

特集

自主防災・危機管理に関する議会質問

Q 自治会における自主防災組織について

A

自主防災組織は、市内自治会の8割以上で各々設立されているが、活動内容に格差がみられるため、昨年度各自治会に配布した「避難誘導マニュアル指針概要版」に基づき、実情に即した活動をお願いしています。

Q 防災無線の導入について

A

新庁舎建設に合わせて市全域での対応が可能な新たな情報伝達について検討し、スマートフォン・タブレット端末・IP通信網などコスト面を考慮し、システム構築に取り組みます。

Q アンダーパスの安全対策について

A

人的な対応ではなく、冠水センサー等を活用し、利用者が確認できる表示板などの対策を検討しています。

新たな避難情報～早期に命を守る行動をとりましょう～

警戒レベル3は、高齢者以外の人にも必要に応じて避難の準備を始め、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

警戒レベル	新たな避難情報等	
レベル5	災害発生又は切迫	緊急安全確保
レベル4	災害のおそれ高い	避難指示
レベル3	災害のおそれあり	高齢者避難
レベル2	気象状況の悪化	大雨・洪水・高潮注意報
レベル1	今後気象状況悪化のおそれ	早期注意情報

豪雨時冠水要注意箇所マップ 地下道及びアンダーパス



①	JR琵琶湖線×日野川左岸道路	⑧	JR琵琶湖線×JR安土駅地下通路
②	JR琵琶湖線×日野川右岸道路	⑨	JR琵琶湖線×県道安土西生来線、市道地下道北線・市道地下道南線（安土町上豊浦地先）
③	JR琵琶湖線×県道大房東横関線（大森町地先）	⑩	JR琵琶湖線×東近江市との市境界付近の道路（安土町下豊浦地先）
④	JR琵琶湖線×市道白鳥日吉野町線（白鳥川左岸通路）（日吉野町地先）	⑪	JR東海道新幹線×日野川右岸道路
⑤	JR琵琶湖線×市道西本郷音羽線（鷹飼町地先）	⑫	国道8号×八風街道（友定町地先）
⑥	JR琵琶湖線×近江八幡自動車教習所南東付近の通路（鷹飼町北地先）	⑬	JR東海道新幹線×蛇砂川右岸通路
⑦	JR琵琶湖線×山本川左岸道路（安土町慈恩寺地先）	⑭	国道8号×旧中山道（安土町石寺地先）

9月定例会の概要

令和4年第3回（9月）市議会定例会を8月29日から9月21日までの24日間の会期で開きました。

8月29日の開会日には、諸般の報告として議長報告、監査報告、市長報告が行われ、市長提出議案として、農業者及び福祉施設への物価高騰支援に係る経費、令和5年4月から18歳まで無料化が拡大される子ども医療費や学校給食費多子世帯支援に要する財源の基金間での組み替えを計上した「令和4年度近江八幡市一般会計補正予算（第3号）」をはじめとする23件の議案が上程されました。上程された議案のうち、議第82号については総務常任委員会に、議第83号については産業建設常任委員会に付託され、委員会での審査後、本会議を再開し、委員会審査報告のあと、即日採決し、可決しました。

その後、議案熟読期間を経て再開された9月7日には、議員提出議案として意見書1件が上程され、同日から9日までの3日間、18名の議員が議案質疑や市政全般に対する個人質問を行いました。

また、9日には16名で構成される決算特別委員会が設置されました。その後、上程された議案及び意見書は、予算・総務・教育厚生・産業建設の各常任委員会に付託され、後日開催した各常任委員会でも当局から議案に対する説明を求め、審査を行い

ました。

なお、「令和3年度近江八幡市一般会計決算の認定」については、決算特別委員会に付託され継続審査となりました。

21日の閉会日には、各常任委員会の審査報告の後、討論、採決を行い、当局から提案された議案は、継続審査とした1議案を除き、全てを可決、認定し、意見書1件については、否決しました。

また、同日、市長提出の追加議案として人事案件4件が上程され、採決を行い、追加議案を全て同意しました。

「令和3年度近江八幡市一般会計決算の認定」については、10月11日、12日、13日に決算審査を行い、12月定例会において、討論、採決が行われます。



個人質問



志誠会

小西市長の

財政運営について

西津善樹



問 小西市長の謳い文句である「小さな庁舎で大きな福祉」。

シンプルでコンパクトな庁舎建設をすることで財源を見い出して福祉に力をいれるという事ではなかったのでしょうか。私には小西市政において大きな福祉を感じられません。子ども医療費無償化や学校給食費多子世帯支援についても、ふるさと納税から子ども子育て基金に繰入れたものの活用であり、ふるさと納税に頼りきりの財政運営のように見受けられますが、当初から謳い文句にされている小さな庁舎にしたことによって生まれた財源はどこに活用されているのでしょうか。

答 市長

市庁舎建設の見直しは、コンパクトな庁舎整備による事業費の抑制を図り、後年度における市債償還額や維持管理コストの負担を軽減するという政策の転換です。今後の持続可能な財政

運営の指針となる中期財政計画では、事業費約95億円の前庁舎計画と現在進めている事業費約50億円の現計画において、それぞれ整備完了となる4年後を比較すると、地方債（借金）現在高は約59億円減少、積立金（貯金）現在高は約40億円増加の見込みであり、医療費無償化の18歳拡大や学校給食費多子世帯支援事業などきめ細やかな市民福祉サービスの提供や、庁舎整備以外の今後の大型施設整備事業を盛り込んだ財政見直しにおいて、財政的数値は良化しています。

庁舎建設見直しで生じる財源は、年間の庁舎維持管理費が建設費の5%強であり、50億円小さくなれば年間2.5億円の財源が生まれ、様々な福祉施策に活用できると考えています。

「その他の質疑・質問」
①危機管理について

個人質問



創政会

JR安土駅付近地下道の
死亡事故について

岡田 彦士



問 7月19日の記録的短時間大雨により、JR安土駅付近の地下道が冠水し、住民の方の尊い命が失われました。地下道という特殊な事情からみると、市は速やかな冠水対策を行うべきではなかったかと考えますが、このことについて、以下の3点をお聞かせください。

- ① 現状、緊急措置として、事故再発防止のためにどのような安全対策をされていますか。
- ② なぜ事故が起こったのか、原因の究明はどこまで進んでいますか。
- ③ この地下道は、抜本的な冠水を防ぐ安全対策が必要と思われるが、今後はどのような対策を講じる方針ですか。

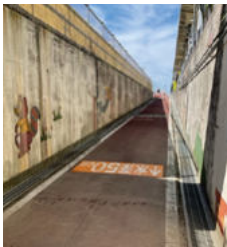
答 市長

① 地下道の進入口には「この先冠水時注意」の路面標示を行い、「冠水時通行禁止」の看板を設置しました。また、通路には冠水した時の水位が分かるよう標示

を行いました。

② 現在、地下道冠水に伴う事故検証委員会を設置して検証を進めています。12月頃までに数回の開催を予定し、なぜこのような事故が起こったのか、原因を究明し検証報告を受ける予定となっています。

③ 人的な対応ではタイムラグが発生することから、センサーによる感知などで通行止めの標示ができないか、現在情報収集をしています。また、滋賀県が設置している排水ポンプについては、排水能力を上げることなどは、引き続き要望して参ります。また、事故検証委員会の検証報告を受けて、滋賀県と連携しながら安全対策に反映して参ります。



【安土駅付近地下道】

「その他の質疑・質問」

- ① おくやみコーナーの設置について
- ② 道路行政について

個人質問



新政会

こどもまんなか
社会実現に向けて

道下 直樹



問 ① お誕生おめでとう健やか祝金制度について、なぜ第一子が1万円、第二子が2万円、第三子が3万円なのでしょうか。金額が少なすぎると考えますが何を基準にしての金額設定なのか、お示しく下さい。

② 要介護者及び在宅高齢者に対して支援しているオムツ補助についてですが、なぜ同じように幼児に対してオムツの補助がないのでしょうか、お伺い致します。

答 子ども健康部長

① 本給付の主たる目的は、子どもの誕生を祝福するお祝い金であることから、金額については、たちまち必要となるおむつ代やミルク代に使っていただくことを想定し、現在の金額としております。

② 子育て支援は、児童期（0歳～18歳）において、各ライフステージで固有の経済的な負担がかさむ状況にあり、子育て世帯

全体の支援の中で、一定のバランスに配慮しつつ、限られた財源の中で、必要性に鑑み、総合的な判断により支援を実施しています。現在、医療費や給食費等の支援を優先して取り組んでおり、現時点でおむつ補助を実施する予定はございませんのでご理解をお願いします。



「その他の質疑・質問」

- ① 人口減少社会における当市の戦略について
- ② 近江八幡市の財政について

個人質問



政翔会

防災対策 水害について

奥田 孝司



問 水害は突発に発生する地震とは違い、降雨、河川への流出、流下、氾濫と順に発生する進行性の災害であります。自然災害のリスクを認識し「自分事」として災害の備えをしていく必要があることから、水害に対する市として防災対策・今後の取り組みについて、以下の2点についてお聞きします。

- ① 災害時、土砂災害警戒区域など、情報収集はどのようにしていますか。
- ② 水防計画に定めている水防活動時に各自治会の自主防災組織との連携はできますか。

答 副市長

土砂災害警戒区域等・氾濫などの情報収集については、滋賀県土木情報システムの土砂災害降雨危険度や、水位観測情報、水位予測、気象庁ホームページ（キキクル）、彦根地方気象台のホットラインなどを活用し情報収集を行っています。

水防活動時の各自治会の自主防災組織との連携については、昨年度各自治会に配布させていただいた「避難誘導マニュアル指針」、「避難所運営マニュアル指針」概要版に基づき、自治会の実情に即した「避難誘導マニュアル」の作成をいただく中で、自主防災組織を中心に連携していきたいと考えています。



「その他の質疑・質問」

- ① 議第81号 近江八幡市子ども医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について

個人質問



政翔会

自治体のデジタル化のなかで住民サービス（書かない窓口）を考えることについて

小川 広司



問 自治体の働き方改革、DXの取組、デジタル化のなかで、その目的は住民サービスの向上にあると考えます。これまでの議会質問でも取り上げてきましたが今回は「書かない窓口」の開設という具体的な内容を取り上げました。

住民が市役所に申請に來られた時、記入しなくても手続きができる窓口の開設です。すでに他の自治体では行われているところもありますが、本市では「書かない窓口」をどのように考えておられますか。

答 総合政策部理事

（業務改善・文化観光担当）

デジタル社会の浸透、新しい生活様式への移行を踏まえた住民サービス向上のためには、デジタル技術を活用し、これまでの窓口サービスのあり方を見直す必要があると認識しております。

令和3年度には、窓口改善チー

ムを設置し、住民サービスの向上と職員の働き方改革の視点から、課題の洗い出し、関連業務の連携方法や新庁舎における窓口サービスの提供方法などを検討しました。

窓口業務のDXにつぎましては、新庁舎整備と同時に運用を開始するのではなく、二重投資にならない範囲で可能なことから取り組んで参りたいと考えております。



「その他の質疑・質問」

- ① 近江八幡市病院事業について
- ② 学校関係のPTA組織について

個人質問



日本共産党

井上さゆり

安土コミュニティエリア
整備について



問 8月27日、安土まちづくり

協議会主催で、安土小学校コミュニティエリア整備促進協議会に対して、市から一体型整備についての説明会が行われました。説明会を傍聴して、移転先が避難施設と位置づけられることから、学区民を対象に市民説明会を持つべきだと考えますが、市の見解はいかがですか。

また、市は、移転先に安土小学校・コミセン・学童クラブ・消防団詰所を一体型に建設するとしています。移転先は浸水想定区域であります。なぜ、わざわざ水害の心配のある所に移転するのか理由をお聞かせください。

答 総合政策部理事

(安土教育施設等整備担当)

学区民全体への説明につきましては、安土コミュニティエリア構想の素案を取り纏めた後に、安土学区の住民の皆様を対象とした説明会を、本年12月に開催

する予定です。

次に移転候補地に整備する理由としましては、大規模災害に着目した市街地近郊のメリットや、中長期の避難生活が送れるコミュニティエリアが果たす役割、想定最大の浸水深でも嵩上げすることが可能になるといった検討結果に加え、地元からのご要望、ご意向を踏まえ、安土コミュニティエリアの整備地を移転整備地で決定いたしました。



「その他の質疑・質問」

- ①安土地下道について
- ②安土小学校・老蘇小学校の洋式トイレについて
- ③若年性認知症について
- ④子育て支援について
- ⑤あかこんバスの児童の通学利用について

個人質問



創政会

井上芳夫

「幻の安土城」復元プロジェクトと
「安土城築城450年祭」について



問 織田信長公が安土にて安土

城の築城を始めてから令和8年に450年を迎えます。織田信長400年祭では、当時は夏目雅子さんなど有名な方々が安土に來られ、大いに盛り上がったと記憶しています。

地元では「安土城築城450年」をまちおこしの起爆剤として考え、市民が主体となつてまちの賑わいづくりや観光振興に繋がるように盛り上げていくとのことですが、市の今後の取り組みについての見解をお示しくください。

答 安土町総合支所長

築城450年に向けた今後の取り組みですが、安土城復元推進協議会において、安土城址所有者の摠見寺様と管理団体である県などと協議をしつつ、安土城址周辺のランドデザインを見据えた検討を続けます。

また、築城450年の節目の年を盛り上げていくために、地

元と一体となつた令和の時代に適合した取り組みを実施したいと考えており、地元団体や関係機関などの代表者で構成する協議会を設立いただき、具体的な内容を含め、協議・検討を実施しながら進めてまいりたいと考えています。



【あづち信長まつり】

「その他の質疑・質問」

- ①令和3年度決算について

個人質問



ひむれクラブ

歴史的建築物の保存及び活用に関する条例(案)について

山本英夫



問 歴史的建築物の保存及び活用に関する条例に関するパブリックコメントの実施要領には、条例制定の趣旨として、特に、伝統的建造物群保存地区においては、空き家及び近い将来空き家になりうる空き家予備軍が多数散見されることから、これらの建築物を適切に保存・活用して、町なみ景観の保全を行う必要があると書かれています。

答 伝統的建造物群保存地区の指定は、地元住民合意が最優先されるべきであり、地域の文化を生かし継承していくためにも、地元こそが大切であると考えますが、当局のお考えをお尋ねします。

総合政策部理事

(業務改善・文化観光担当)

本条例の対象となる建築物は、伝統的建造物群保存地区保存条例に規定する伝統的建造物の他、文化財保護法の規定により登録された有形文化財、景観法の規

定により指定された景観重要建造物などであり、市内全域の歴史的建築物を対象としたものであるため、広く市民の意見を求めるパブリックコメントを実施しています。

本条例の対象となる建築物の多い伝統的建造物群保存地区においては、有識者や保存地区の代表で構成される伝統的建造物群保存地区保存審議会に諮り、意見をいただいたうえで、本条例の素案を策定しています。



「その他の質疑・質問」

① 青少年健全育成について

個人質問



政翔会

コロナ禍における職員の健康について

沖 茂樹



問 本市の職員の中でも、新型コロナウイルス感染症に感染し、出勤することが出来なくなった方は少なくないと思います。

特に、総合医療センターは専門性が高い職場ですが、休まれている間は、どのように仕事をフォローされているのですか。

また、フォロワーに入った職員は仕事の量が増えますが、必要な休憩時間は確保できていますか。

そのための、リフレッシュできる物理的な環境と心理的にも休憩を取りやすい職場環境づくりに配慮されていますか。

総合医療センター事務長

答 出勤停止となる職員が急増している中でも、互いにフォローし合いながら業務を継続しているところですが、専門性が高く、他部署からの応援ができない業務については、人員の状況により業務の縮小や一時閉鎖という対応を取ることがありました。

また、職員がリフレッシュできる環境として、昼休憩時のよしぐえホールの開放や、職員専用のラウンジを広げたことなどにより、休憩を取る際に、人の距離を保ちながら過ごせるよう環境整備を行いました。また、各職場ではゆっくりと休憩を取ることができるよう指導を行っています。



【医療センター内職員専用ラウンジ】

「その他の質疑・質問」

① 国道県道の整備について

個人質問



創政会

近江八幡市の
高齢者施策について

岡山かよ子



問 現在介護認定を受けても、居宅計画を立ててくれる居宅介護事業所の空きがありません。この現状を市は認識していますか。

そして、今後この状況にどのように対処するのか、また、自己プランの作成についてはどのように援助されているのか、お聞かせください。

また、介護人材の不足は国においても大きな問題と捉え、処遇改善や離職防止対策等が実施されていますが、当市の事業所においては人材不足が生じているのか、現状をどのように把握されているのか、お伺いします。

答 福祉保険部長

居宅介護事業所の空き状況が少ない状況に対する対応につきましては、介護人材確保のための合同職場説明会に、居宅介護支援事業所も含めるよう対象拡大しております。また、セルフプラン作成への援助につきま

ても、サポート体制整備の検討を進めており、今後はその活用についても利用者様への情報提供を行っていきたいと考えております。介護人材の不足につきましては、ハローワークなどへの求人情報、本市主催の合同職場説明会の参加事業所の情報などから各事業所等において介護人材が不足している状況にあることは認識しております。



「その他の質疑・質問」

① 近江八幡市立総合医療センター事業について

個人質問



日本共産党

防災と危機管理体制の
あり方について

森原陽子



問 7月19日の記録的短時間大雨で安土地下道が冠水し、女性がお亡くなりになりました。ご冥福をお祈りします。

昨年8月のお盆の時期にも水害が発生しています。過去の災害の経験と教訓をどのように生かされていますか。

一人も取り残さない避難のためには、日頃から市民の防災意識を高め、適切は避難行動を身につけることが重要です。

現在、自主防災組織がつけられている自治会、毎年防災訓練を行っている自治会は何自治会ありますか。

答 副市長

これまでの災害の経験や教訓を、毎年改訂の地域防災計画に反映するとともに、「水防・土砂災害対応計画」においても毎年見直しを行っておりますが、今年のような一時的な大雨による教訓を踏まえて、職員の詳細な行動などについても見直しを行

いたいと考えています。

自主防災組織がつけられている自治会は、令和4年8月末時点で168自治会中、146自治会であり、自治会が防火防災訓練を実施する際に市へ提出いただく「防火防災訓練実施計画書」による訓練の実施件数は、平成31年度は100件、令和2年度は36件、令和3年度は42件、今年度は8月末時点で45件となっております。



【自治会防災訓練】

「その他の質疑・質問」

① 放課後児童クラブの拡充について
② 用務員・調理員の民間委託について
③ 北里循環型開発地域内における水路の安全対策について
④ 旧統一教会問題等について

個人質問



創政会

南 祐輔

医療機関の
無い地域の対策について



問 馬淵学区では現在、学区内に医療機関がない状態にあります。このことについて、以下の3点をお尋ねします。

- ①今の馬淵学区は、厚生労働省が定義する無医地区やそれに準ずる地区に該当しますか。
- ②医療機関の誘致に伴う土地取得は、農地法や都市計画法などの法令に従って行われますが、このような法令上の規制を緩和する措置を市が講じることは出ますか。
- ③住民の安心・利便性を考えると、近くに医療機関がないことについて、誘致を図るなど何らかの対策をとっていただきたいかがいかがでしょうか。

答 総合医療センター事務長、
総合政策部長

①馬淵学区は、厚生労働省が定めた「へき地保健医療対策等実施要綱」において、無医地区、無医地区に準ずる地区には該当いたしません。

②現在、市として規制緩和等の措置を講じておらず、法令上の規制を受けることとなります。

③人口減少社会を見据えた都市計画の方向性として、医療機関を含む生活利便施設を市全域に均一に設置するのではなく、既存施設へのアクセスをいかにして確保するかが重要であると考えていることから、交通アクセス向上などを検討し、診察や健康管理に関するアドバイスを受けやすい環境づくりに取り組みます。



「その他の質疑・質問」

①新型コロナウイルス感染症対策について

②太陽光パネルについて

個人質問



日本共産党

玉木弘子

安土コミュニティエリア
整備事業に関連して



問 安土川は、普段から雨が降ると満水状態です。整備地の土地造成で、4.8ヘクタール分の水田の雨水貯留がなくなり、「雨水を安土川で処理できるか」「排水に影響が出ないか」住民は不安に思っています。造成が進み、水田の減少で、記録的な大雨が降ると行き場を失った雨水を河川が流下しきれないことが指摘されています。

エリア整備による安土川への影響を最小限にとどめる具体策について、住民の不安が払拭できるように説明を求めます。

答 総合政策部理事

(安土教育施設等整備担当)

安土コミュニティエリア構想策定業務において、雨水排水計画に基づき専門業者による雨水排水の調査を行い、今後、具体的に検討を行っていく予定をしております。

調査の結果、コミュニティエリア整備により、現況河川の流

下能力に支障が出る場合には、雨水の貯留機能として調整池を整備することなどを検討します。調整池は、大雨の際に堰により雨水が溜まり、流出量を軽減させるものです。

いずれにいたしましても、コミュニティエリアの整備により周囲に影響が出ないように必要な排水対策を検討して参ります。



「その他の質疑・質問」

①新型コロナウイルス感染症対策について

②生活保護について

個人質問



政翔会

西の湖現状について

辻 正隆



問 琵琶湖最大の内湖であり、西の湖は、県内最大でありますヨシの群生地でもあり、水郷の風景と生物多様性を残す近江八幡市を代表する魅力のスポットでもあります。

現在まで西の湖ではヨシの加工・内湖漁・西の湖から取水される農業、更には水郷をめぐる水郷巡りなど様々な生業がここにあります。

しかし、昨今の異常気象からでしょうか、元来水深の浅い西の湖では、ここ近年アオコの異常発生により生業に支障をきたされる状況があるとお聞きします。このような状況を市としてどのように把握し、対策についてどのようにお考えなのか、市のご所見をお尋ねします。

答 副市長

近年、西の湖ではアオコの発生が毎年確認されるようになり、管理者である滋賀県が中心となって西の湖の水質改善に取り

組んでおります。

昨年度開催された西の湖水質改善検討会において、水質悪化の原因として、西の湖内での水の動きがほとんどないことや水温の上昇、西の湖自体の水位低下のほか、富栄養化の原因物質の1つであるリンの増加などが関係しているのではないかとの見解が示されております。また、今年7月から、「水質改善実証モデル事業」が実施されており、今後県において、その効果についても検証される予定です。

本市も今年5月から県の関係機関と共同でアオコ監視パトロールを毎週実施しており、今後県と連携しながら取り組みを進めてまいります。



【西の湖】

「その他の質疑・質問」

- ① 農水産業支援について
- ② 子ども子育て施策について

個人質問



公明党

全国学力テストと読書活動の推進について

岩崎和也



問 四月に小学六年生と中学三年生を対象に実施された全国学力テストの結果が公表されました。この全国学力テストというのは、文部科学省が子どもたちの学力を把握して、授業の改善につなげることを目的としており、毎年実施されています。

いずれの教科でも、文章や図から問題を読み解く力に課題がみられたということですが、教育長はその結果をどう捉えておられますか。

答 教育長

今年度の調査から、成果がみられたのは小学校の国語でした。ペアやグループ、全体で交流し、考えを広げ、深める学習を大切にしてきた成果と捉えています。反対に課題がみられたのは中学校の数学でした。必要な情報を整理し考えをまとめる思考力や、理由を加えて説明する表現力を育んでいけるよう授業の改善に取り組めます。

教育委員会では、「早寝・早起き・あさ・し・ど・う」運動の中で、読書に重点的に取り組んでいます。学校では、学校司書などを活用し読書環境を整えるとともに、読み聞かせやブックトークなどを行い、本に親しむ機会を作っています。また、授業では、図書を活用した調べ活動を大切にしています。

今後も学校の教育活動全体を通して読み解く力の育成に取り組んでいきます。



「その他の質疑・質問」

- ① 中期財政計画と財政規律について
- ② 部局間の情報共有と連携について
- ③ 福祉と環境衛生面からみる動物行政について

個人質問



凜成会

防災対策について

山元 聡子



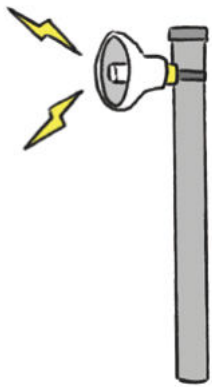
問 今回の地下道冠水での事故など、地球温暖化に伴う昨今の水害による被害は、私達の想像をはるかに超えるものとなっています。

安土地区では防災行政無線が備えられています。八幡地区の方では、そういった防災無線はありません。高齢化も進んでおります。各町内の放送設備の充実や防災スマートフォンアプリの活用だけでは全体を網羅出来ないと考えます。防災無線の導入についての市のご所見をお伺いします。

答 副市長

新庁舎建設に合わせて、市全域での対応が可能となる、新たな情報伝達手段について検討しています。新たな情報伝達手段としては、デジタルに対応した防災行政無線の整備も検討の1つでありましたが、比較的安価に整備できるスマートフォンやタブレット端末、IP通信網の

利用やFMラジオ等の開発も進んでおり、コスト面に考慮して、こうした防災情報伝達サービスを中心に比較検討を進め、高齢者、障がい者などすべての市民へ迅速かつ正確な情報を提供できるシステムの構築に向け取り組んでいきたいと考えています。



「その他の質疑・質問」

①環境整備活動の充実とポイ捨てごみをなくしていくことについて

個人質問



公明党

不登校児童生徒への学習機会の確保と支援の在り方について

山本 妙子



問 全国の小中学校で、2020年度に「不登校」だった児童生徒は196,127人となり、8年連続で増加し、過去最多となっています。文部科学省は、今後の不登校児童生徒への支援の在り方として「誰一人取り残されない学校づくり」「多様な教育機会の確保」「支援ニーズの早期発見」「学校へ行くことよりも自立を目指す支援」ということを掲げました。

さて本市においても、不登校児童生徒数は年々増加し、令和3年度では小学校69人、中学校121人ということですが、
①不登校の子ども達の受け皿である適応指導教室や民間のフリースクールなどに通所する子どもを教えるべく、
②それらに通う出欠の取扱いはいかがでしょうか。
③昨年、草津市では県下に先駆けて「フリースクール授業料支援」を行いました。本市においても取り入れていただくことはできないでしょうか。

答 教育長

①市の適応指導教室に通所する児童生徒は7名で、ホームスタ

ディ制度を利用する児童生徒も7名です。フリースクールなど民間施設では6つの施設に13名が通所しています。
②公設の適応指導教室などを利用している児童生徒は出席扱いとなっています。民間施設では現在10名が出席扱いとなっています。今後、出席扱いをしない3名についても学校・施設・保護者で連携・協力体制を構築し出席扱いとなるように取り組んでいきます。
③まずは老朽化した教育相談施設の移転やホームスタディ制度の拡充など公的な教育相談体制を充実させていきますが、県内他市の状況も踏まえながら様々な方から意見を聞き、授業料支援の必要性について、教
育委員会内で検討していきたいと考えています。



「その他の質疑・質問」

①市営住宅の今後について
②官庁街の整備について

個人質問



チームはちまん

竹尾 耕児

ふるさと応援寄附金の
予算充当方針について



問 ふるさと応援寄附金が堅調なことは大変喜ばしいことです。

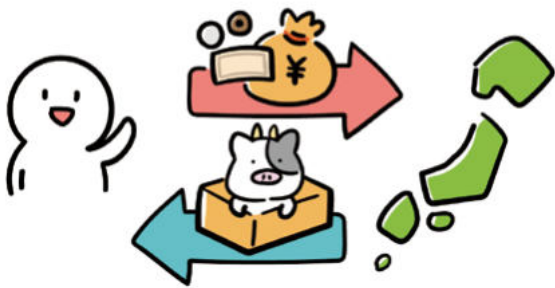
本市の近江牛や八幡靴など地場製品の価値向上にも寄与されていること、大変嬉しく思っています。一方、その使われ方について毎年増減のある寄附の性格上、継続的な事業やランニングコストにあてずに具体的な到達目標を設定できる「出口の見える事業」に使うことが妥当と感じますが、本市のふるさと応援寄附金の予算充当についての基本的な考え方を示してください。

答 市長

令和3年度においては、全国の皆様から約13万1千件の寄附申込み、総額で約47億8千万円のご寄附を頂戴し、厚くお礼申し上げます。

ふるさと応援寄附金の活用については、ふるさと応援寄附条例に定める6つの分野から、寄附者様に寄附金活用希望分野をご指定いただき、そのご意向に

ふるさと納税



沿って活用させていただいてます。具体的には、持続可能な財政運営と特色ある取り組みの両立を目的とし、本市の今後の発展を見据えた新規拡充事業や対外的に本市をアピールできる独自事業のほか、子ども・子育て施策や高齢者施策のためにも積極的に活用させていただきたいと考えています。

予算常任委員会審査報告

委員長 井上 芳夫

予算常任委員会は9月12日、13日に委員会を開催し、「議第71号 令和4年度近江八幡市一般会計補正予算（第3号）」を審査しました。

採決の結果、全員賛成で原案を可決すべきものと決しました。

なお審査過程における主な意見として、今回の予算においても、ふるさと応援基金からの繰入れに依るところがみられる。

予算の組み立て方に関しても、明確な方針や要綱等が示されず理解しにくい事業もあることから、しっかりと慎重に予算を組むとともに、実施後は成果を示されたい。また、自治会要望を伴う道路修繕、整備など特に優先順位をつけているものは、基準を明確にされたい。また人件費を伴う民間委託をする場合は、処遇改善できるように公契約条例などの制定が必要であるとの意見がありました。

総務常任委員会審査報告

委員長 平井 僧治

総務常任委員会は、9月定例会で付託された議案について、9月14日に委員会を開催し、決算認定議案2件、予算関連議案1件、条例関連議案1件、議員提出議案の意見書1件について、当局に対し詳細な説明を求め、また、意見書については、提出議員に対し概要説明を求め、議案質疑などを行い審査しました。

決算認定議案について、議第66号及び議第70号の2件は、全員賛成で原案を認定すべきもの



と決しました。予算関連議案について、議第76号は全員賛成で原案を可決すべきものと決しました。

また、意見書の会第6号は賛成少数で原案を否決すべきものと決しました。

なお、審査過程において、議第66号に関して、文化会館の自主事業に対する考え方として、採算性だけで見るとはならず、市民の文化芸術を高めることに費用対効果で寄与しているかどうかで見るべきであるなどの意見がありました。また、会第6号については、現在、国において、解決のために関係省庁が調査を進めており、被害者救済のための相談体制などがとられていることや、地方議員としては、教団会員の子どもへのいじめに対する相談対応などを行うことが務めであることから、現時点では調査の結果を待つべきであり、趣旨には賛同であるが、提出は見送るべきであるなど反対の意見がありました。

教育厚生常任委員会審査報告

委員長 南 祐輔

教育厚生常任委員会は、9月15日に委員会を開き、当委員会に付託された決算認定議案5件、予算関連議案3件、条例議案3件について、各部局に詳細な説明を求め、議案質疑などを行い、審査しました。

採決の結果、予算関連議案3件は賛成多数、条例議案3件は全員賛成で原案を可決すべきものと決しました。

また、決算認定議案については、議第63号は全員賛成、その



他の4議案は賛成多数で原案を認定すべきものと決しました。

議案審査の中での委員の主な意見として、議第81号「近江八幡市子ども医療費助成条例の一部を改正する条例について」は、条例改正によりすべての18歳までの子どもたちが安心して医療を受けることができるようになるため賛成する。また、子ども医療費助成は、ふるさと納税から子ども子育て基金に繰り入れた財源を充てているが、ふるさと納税に依存するのではなく、恒久的な財源の確保を検討するべきであるため反対する、との意見がありました。

産業建設常任委員会審査報告

委員長 道下 直樹

産業建設常任委員会は、開会日の8月29日及び9月16日に委員会を開催し、当委員会に付託された決算認定議案2件、予算関連議案1件、条例関連議案1件、その他議案1件について、

当局に詳細な説明を求め、議案質疑などを行い審査しました。

採決の結果、決算認定議案は、全員賛成で原案を可決及び認定すべきものと決しました。次に予算関連議案、条例関連議案、その他議案は、いずれも全員賛成で原案を可決すべきものと決しました。



産業建設常任委員会 活動報告

9月定例会の開会日の8月29日に産業建設常任委員会は、7月19日に豪雨により地下歩道が冠水し、死亡事故が発生した安土町上豊浦地先の事故現場の状況と、その後の安全対策について現地調査を行いました。

現地では地下歩道に雨水が流入した周囲の状況や、スロープの構造及び排水ポンプの容量、排水先水路などを調査、確認をしました。

委員会からは、早急に市道側の事故防止設備の設置をすること、さらに市の危機管理体制の在り方や人的配置も含めての体制の強化を行うとともに、市民への注意喚起の徹底や情報伝達について改善を求めました。また、昨今の短時間豪雨に対応するには、排水ポンプの能力及び排水先の水路も脆弱で問題があると指摘しました。

併せて、市内のJR及び国道に設置されている、他のアンダーパス及び地下歩道の管理体制や、これまでの冠水状況について聞きとりを行い、日頃から注意喚起を促すための看板設置や必要な事故防止設備の設置を要請しました。



決算特別委員会の設置について 委員長 片岡 信博

9月9日の本会議において16名の委員で構成される決算特別委員会が設置されました。同日、本会議終了後に委員会を開催し、正副委員長の互選を行いました。また、本会議で委員会に付託された「議第61号 令和3年度近江八幡市一般会計決算の認定を求めることについて」の議案については、内容審査などを慎重に行うためには時間を要することから、閉会中の継続審査とすることに決定しました。

今後、閉会中に委員会を開催し、議案審査を行い、12月定例会本会議で委員会の審査報告を行う予定です。

なお、決算特別委員会の16名の委員は次のとおりです。

委員長 片岡 信博

副委員長 沖 茂樹

委員 道下 直樹 岩崎 和也 山本 妙子 南 祐輔 山元 聡子 大川 恒彦

森原 陽子 玉木 弘子 竹尾 耕児 井上 芳夫 奥田 孝司

西津 善樹 井上 さゆり 山本 英夫

令和4年第3回(9月)近江八幡市議会定例会に提出された議案と議決結果

賛否の分かれた議案

議案番号	件名	付託委員会	会派 議決結果	創政会							政翔会				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
				南大井岡岡小片北沖辻奥小森玉井岩山道平西竹山山	川川上上田田西岡岡川川	川川川川川川川川川川	川川川川川川川川川川	川川川川川川川川川川	川川川川川川川川川川	川川川川川川川川川川	川川川川川川川川川川	川川川川川川川川川川	川川川川川川川川川川	川川川川川川川川川川	川川川川川川川川川川	川川川川川川川川川川	川川川川川川川川川川	川川川川川川川川川川	川川川川川川川川川川	川川川川川川川川川川	川川川川川川川川川川
9月市議会定例会																					
◇ 決 算																					
議第62号	令和3年度近江八幡市国民健康保険特別会計決算の認定を求めることについて	教育厚生	認定	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第64号	令和3年度近江八幡市介護保険事業特別会計(保険事業勘定)決算の認定を求めることについて	教育厚生	認定	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第65号	令和3年度近江八幡市介護保険事業特別会計(サービス事業勘定)決算の認定を求めることについて	教育厚生	認定	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第67号	令和3年度近江八幡市後期高齢者医療特別会計決算の認定を求めることについて	教育厚生	認定	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
◇ 議員提出議案																					
会第6号	政治家と旧統一教会(世界平和統一家庭連合)との関わりの真相究明を求める意見書の提出について	総務	否決	×	×	×	×	×	-	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○

①:日本共産党 ②:公明党 ③:新政会 ④:志誠会 ⑤:チームはちまん ⑥:ひむれクラブ ⑦:凜成会
 ○…賛成 ×…反対 欠…欠席 退…退席 除…除斥 —…議長は採決に加わっていません。

全員一致で承認・可決・同意・採択した議案

議案番号	件名	付託委員会
9月市議会定例会		
◇ 決 算		
議第63号	令和3年度近江八幡市介護認定審査会共同設置事業特別会計決算の認定を求めることについて	教育厚生
議第66号	令和3年度近江八幡市文化会館事業特別会計決算の認定を求めることについて	総務
議第68号	令和3年度近江八幡市水道事業会計の利益の処分につき議決を求めること及び決算の認定を求めることについて	産業建設
議第69号	令和3年度近江八幡市下水道事業会計の利益の処分につき議決を求めること及び決算の認定を求めることについて	産業建設
議第70号	令和3年度近江八幡市病院事業会計決算の認定を求めることについて	総務
◇ 予 算		
議第71号	令和4年度近江八幡市一般会計補正予算(第3号)	予算
議第72号	令和4年度近江八幡市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	教育厚生
議第73号	令和4年度近江八幡市介護保険事業特別会計(保険事業勘定)補正予算(第1号)	教育厚生
議第74号	令和4年度近江八幡市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	教育厚生
議第75号	令和4年度近江八幡市下水道事業会計補正予算(第1号)	産業建設
議第76号	令和4年度近江八幡市病院事業会計補正予算(第2号)	総務
◇ 条 例		
議第77号	近江八幡市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務
議第78号	近江八幡市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	産業建設
議第79号	近江八幡市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について	教育厚生
議第80号	近江八幡市老人福祉医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について	教育厚生
議第81号	近江八幡市子ども医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について	教育厚生
◇ そ の 他		
議第82号	文芸セミナーヨ外壁改修工事請負契約の締結につき議決を求めることについて	総務
議第83号	財産を取得することにつき議決を求めることについて	産業建設
◇ 人 事		
議第84号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	省略
議第85号	近江八幡市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	省略
議第86号	近江八幡市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	省略
議第87号	近江八幡市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	省略

付託委員会欄の「予算」は予算常任委員会、「総務」は総務常任委員会、「教育厚生」は教育厚生常任委員会、「産業建設」は産業建設常任委員会です。

12月定例会のご案内 令和4年第4回(12月)市議会定例会は、次のような日程で予定しています。それ以外の日は、休会の予定です。

開会日	質問日	委員会	閉会日
11月30日(水)	12月9日(金)、12日(月) 13日(火)、14日(水)	12月15日(木)、16日(金)、19日(月)、 20日(火)、22日(木)	12月26日(月)

皆さまからの議会運営に関するご意見を、メールまたは文書にて、議会事務局までお寄せください。

〒523-8501 近江八幡市桜宮町236番地 Eメール: 020200@city.omihachiman.lg.jp FAX: 0748-36-7101